

ダークワールド

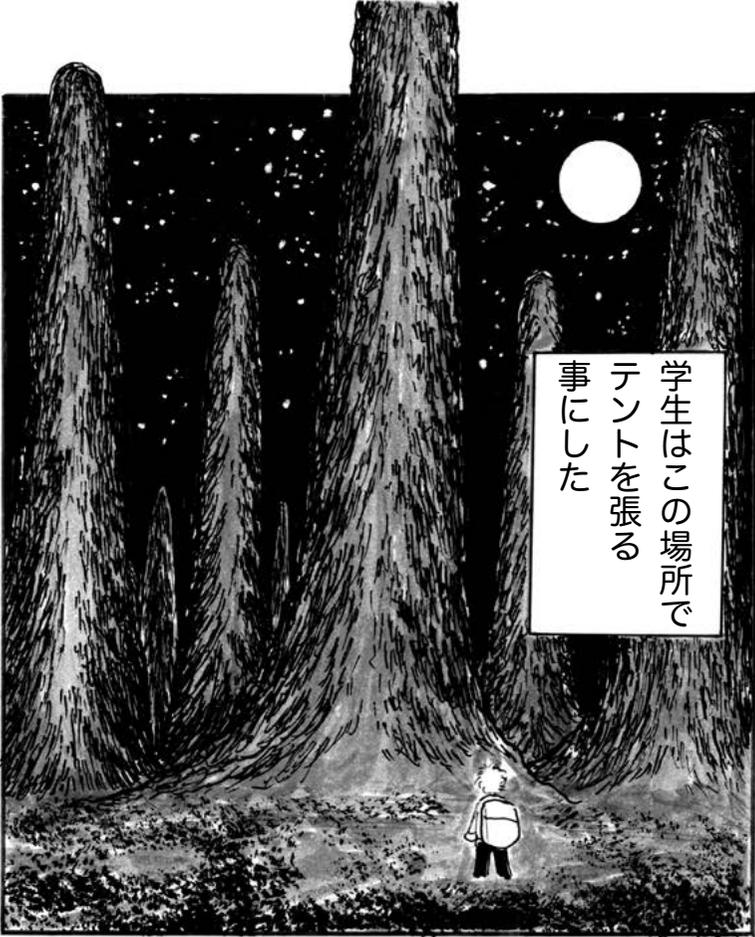
警告





学生は驚いた
空高く塔のような
物がそびえ建って
いたから





学生はこの場所で
テントを張る
事にした



塔の事を考えると
なぜか興奮して
眠れなかった



どうやら
甘い香りは
塔の方が
らだった



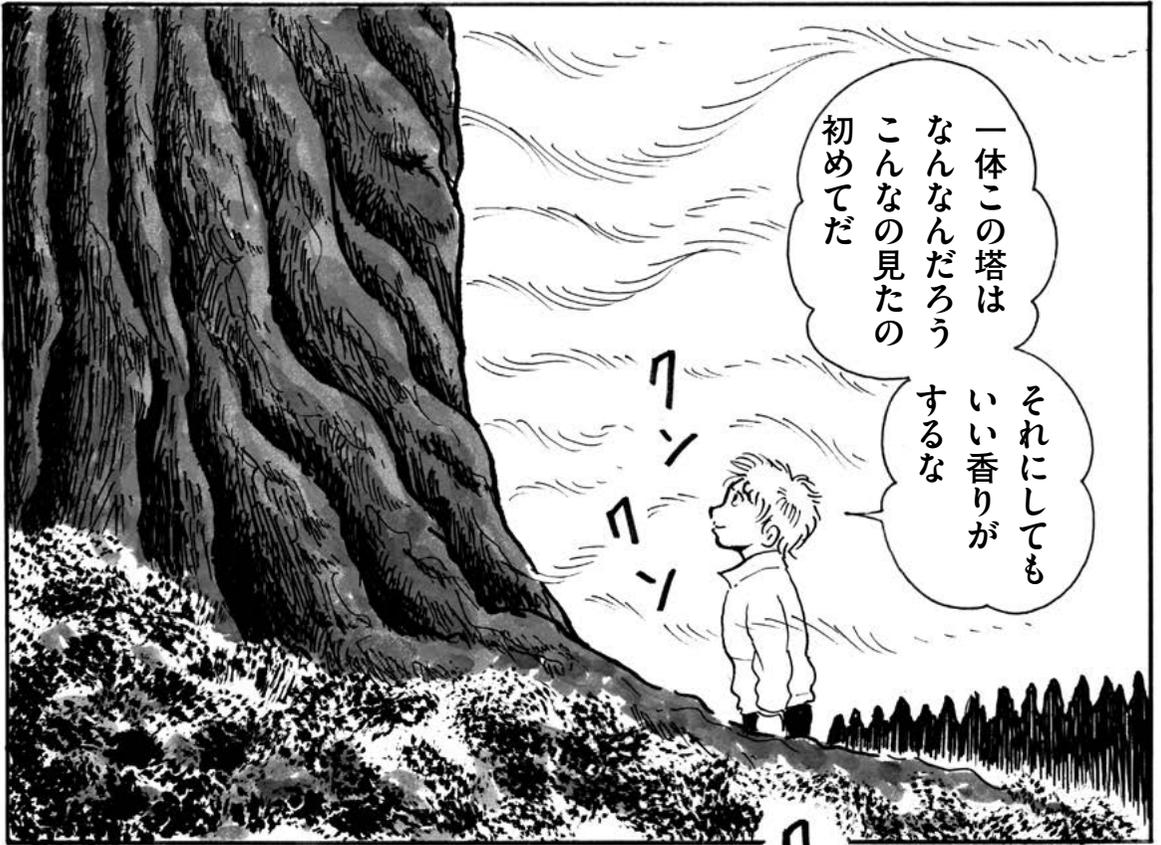
三十分ぐらい経った
だろうか
何処からともなく
甘い香りがしてきた



この塔から
香りが出て
いるのか



塔に近づくと
香りは一段と
強く感じた



一体この塔は
なんなんだろう
こんなの見たの
初めてだ

それにしても
いい香りが
するな



甘い香りは
幻覚作用を
引き起こす作用が
あった



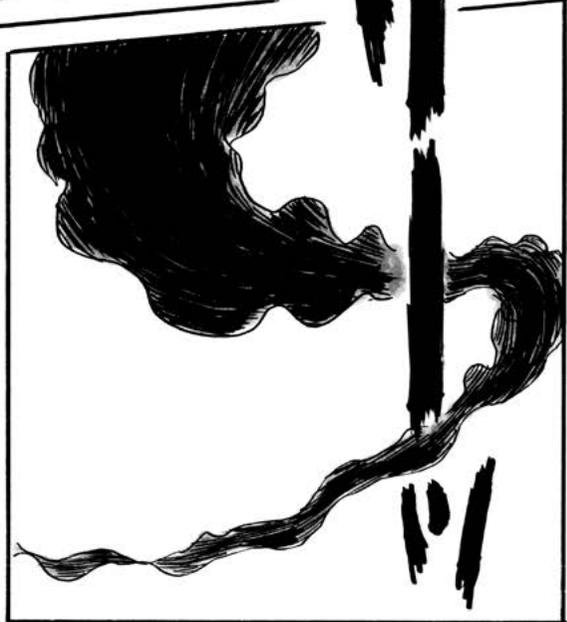


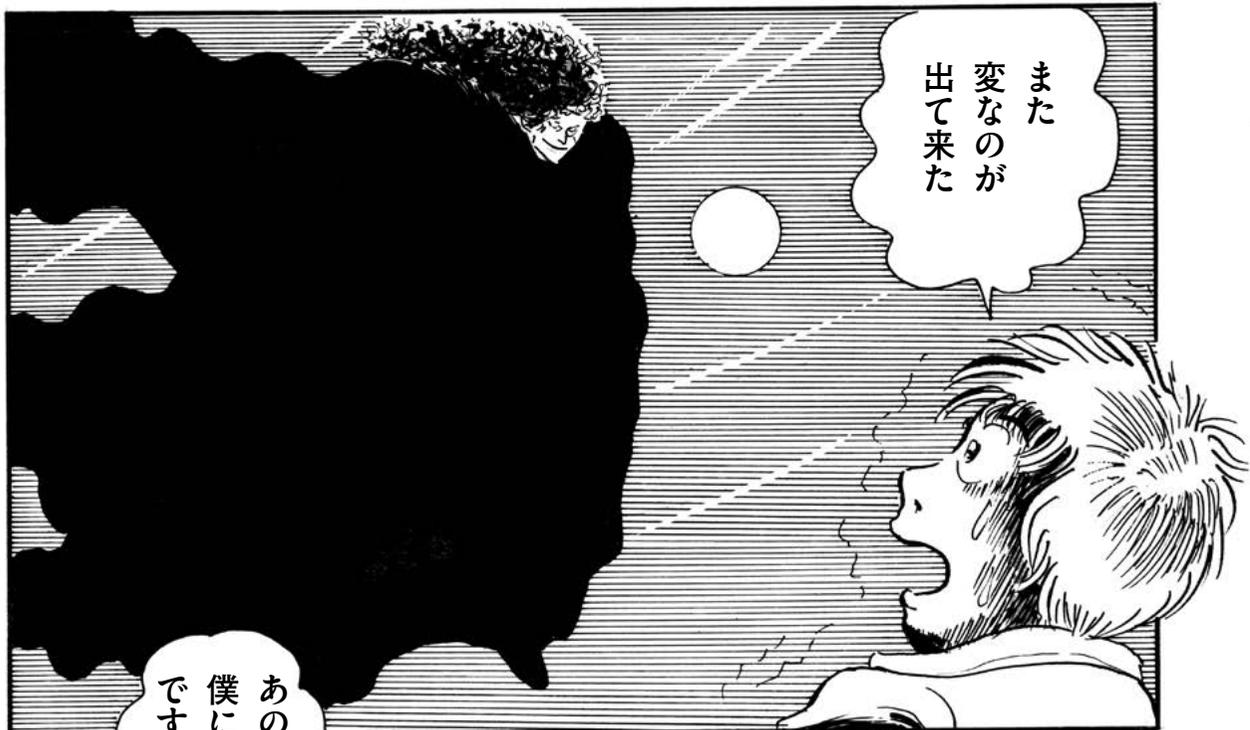
俺を眠りから
覚ましたのは
おまえか!!



ぼ・ぼくじゃ
ありません

そうか





また
変なのが
出て来た

あの
僕に用
ですか？



おまえが
選ばれた
人間だと!?



道に迷って
ここに来たん
です



お前はここに来た
本当の理由が
分かっていない
ようだな



道に迷った
のではない
導かれて来た
のだ

?



そうだ、お前は
人類の代表として
我々が導いたのだ

普通の人間では
この場所まで
たどりつけない



導かれて
来たって!?



僕は普通の人間だ
あなたこそ、宙に
浮いたりして
何者なんです?

たしかに俺は
人間では無い



人間のお前よく聞け
お前たち人類は
青く輝く水の惑星
この地球を破滅に
導いている

地球上の全生命体が
滅亡か存続かの
カギをお前が握って
いるんだ



環境汚染や
戦争をやめない
お前たち人類は
野蛮人だ



あの～そんな事
僕に言われても
どうする事も
出来ませんよ



四十年後



学生は総理に
なっていた

各国の
首脳たちは
地球温暖化
対策について
会議をした



会議は自国の

利益ばかりを考え

一向に具体策が

出ないまま終わった



自国の利益を

第一に考えてこそ

国のトップと

言えるだろう



部屋に戻った

時だった



この絵は

学生の時、見た

覚えがある!!



いつの間にか新しい

絵が飾ってあった

その絵を見て昔の事を

思い出した

謎の男から地球の存続を

真剣に考えよとの

メッセージの事を

